駒本小学校エリア
「学びの教室」通信

No.7
令和８年１１月４日
特別支援教室「学びの教室」
巡回指導拠点校・通級指導校
文京区立駒本小学校
校長　根来　郁明
文京区立汐見小学校（巡回校）
校長　山田　晴康

駒本小学校特別支援教室直通電話　3827−5575（ファクシミリ兼用）

安心できるから、挑戦できる
～子どもたちの「やってみよう」を支えるために～

学校生活では、初めての活動に取り組んだり、大勢の前で発表したり、友達と協力して一つのことに取り組んだりする場面がたくさんあります。こうした経験は、子どもたちが成長する大切な機会である一方で、不安や緊張を感じる場面でもあります。私たち大人は、子どもたちが不安そうにしていると、つい「大丈夫だよ」「頑張ってみよう」と声を掛けたくなります。しかし、励ましの言葉だけでは、なかなか一歩を踏み出せないこともあります。

では、子どもたちが安心して挑戦するためには、どのようなことが必要なのでしょうか。例えば、活動の内容や流れが分かっていること。困ったときに相談できる人がいること。うまくいかなくても責められないこと。そして、自分の気持ちを受け止めてもらえること。こうした安心感があることで、「ちょっとやってみようかな」という気持ちが生まれやすくなります。

また、安心感を得るために必要なことは、一人一人異なります。事前に活動の流れを知ることで安心できる子もいれば、まずは周りの様子を見てから参加したい子もいます。信頼できる大人と一緒に取り組むことで、初めての活動に挑戦できる子もいるでしょう。大切なのは、「みんなと同じように取り組むこと」だけを目指すのではなく、その子が安心して一歩を踏み出せる方法を考えることです。

学びの教室でも、子どもたちが安心して活動に参加できる環境づくりを大切にしています。活動の見通しをもてるようにしたり、取り組み方を工夫したり、一人一人のペースに合わせて少しずつ活動の幅を広げたりしています。例えば、初めてのゲームに不安を感じている子には、事前にルールを確認したり、まずは先生と一緒に取り組んだりすることがあります。慣れてきたら友達と一緒に活動するなど、段階を踏んで経験を積み重ねていきます。

また、活動の中でうまくいかなかったときも、すぐに結果を求めるのではなく、「どこが難しかったかな？」「次はどうしたらよさそうかな？」と一緒に考えることを大切にしています。こうした経験を通して、「失敗しても大丈夫」「困ったときには助けてもらえる」「もう一度やってみよう」と思えることが、次の挑戦につながっていきます。

そして、子どもたちの成長は、目に見える結果だけで測れるものではありません。初めは参加することに不安を感じていた子が、自分から活動に加わろうとしたこと。うまくいかないことがあっても、気持ちを立て直してもう一度挑戦したこと。困ったときに、自分から「手伝って」と伝えられたこと。こうした小さな変化も、大切な成長の一つです。もちろん、安心できる環境とは、何でも思い通りになる環境ということではありません。時には思い通りにならないことや、難しいことにも向き合う必要があります。そのようなときに、周囲の支えを受けながら乗り越える経験を積むことも大切です。

「できた」という結果だけでなく、「やってみよう」とした気持ちや、そこに至るまでの過程にも目を向けていきたいものです。そして、学びの教室で積み重ねた経験が、普段の学級での挑戦にもつながることを願っています。学びの教室で見つけた自分に合った方法や、少しずつ育んできた自信を、在籍学級での学習や友達との関わりの中でも生かせるようにしていくことが大切です。これからも、在籍学級の先生方や保護者の皆様と連携しながら、子どもたち一人一人が安心して自分の力を発揮し、新しいことにも挑戦できるよう、小さな一歩を大切に支えていきたいと思います。



裏面に続く

＜保護者の皆様へ　2学期末個人面談（希望制）について＞

12月14日（月）から2学期末個人面談を実施します。後日お知らせを配布いたします。今回は希望制の面談ですが、希望の有無に関わらず、締め切り日までに日程調査票を提出していただけますよう、ご協力をお願いいたします。

以上